



びっきー

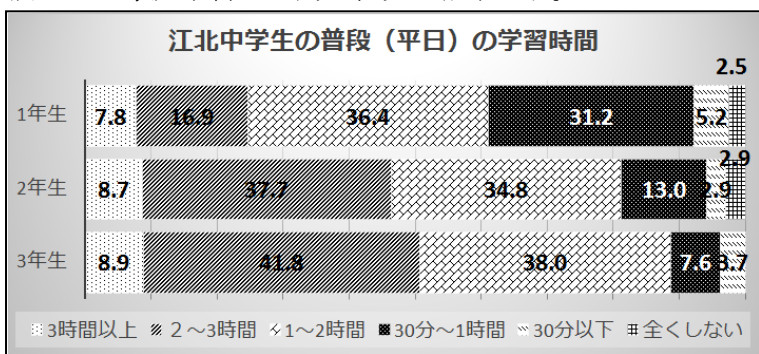
第12号

【学校教育目標】

Chance! Challenge! Change!
 ~「チャンス」をつかみ「挑戦」!
 自分をより高く「変革」!~

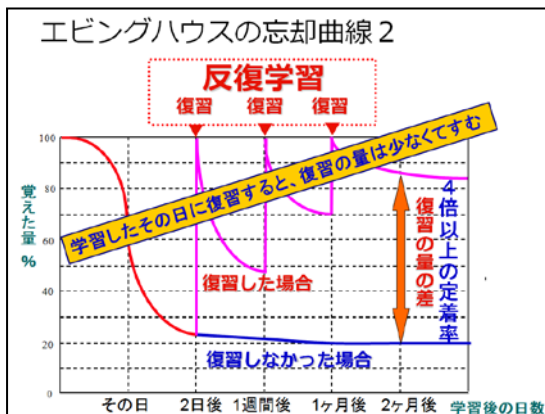
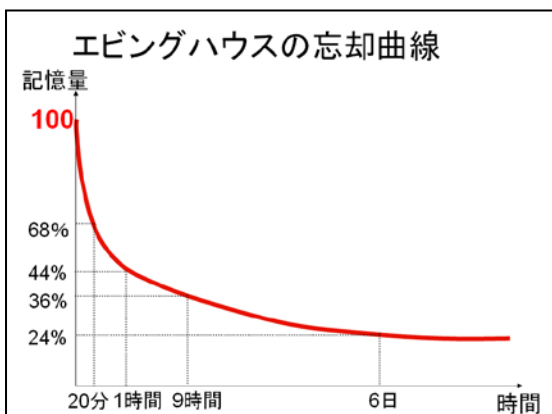
生徒朝会：文化部発表

9月26日(水)の学年朝会は文化部の発表でした。1年生と3年生は、家庭学習の実施時間の調査結果を発表してくれました。2年生は、前週の全校朝会で学習について私が話をしたことをまとめ、発表してくれました。1, 3年生の予習や復習に宿題が含まれているのかどうか不明な点もありましたが、もし含まれるとすれば、かなり危険な状況でした。ちなみに、4月の学習状況調査での家庭学習の時間は、次の結果です。



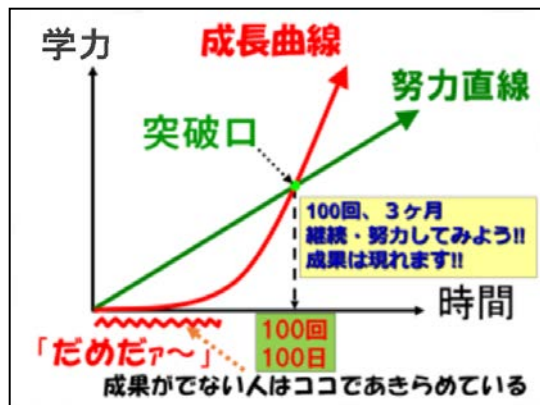
2, 3年生は、約半数が2時間以上家庭学習(塾を含む)に取り組んでおり、特に3年生は中体連が終了し、さらに家庭学習に力をいれていることと思います。1年生においては、入学当初から時間が経過し、中学校での学習にも慣れ、4月当初より増えていることと思います。30分以下、全くしないという生徒は如何なものかと思えます。

先月、全校朝会で、「継続は力なり」ということで学習について話をしました。まず、「エビングハウスの忘却曲線



の忘却曲線」を見せ、時間とともに記憶したものは忘れていく。そこで、復習をした場合としなかった場合とでは定着率はかなり異なるし、時間が経てば経つほど復習の量は多くなる。

復習は、「学習したその日→1週間後→1ヶ月後」が効果があり、宿題だけしていても学力はつかないということです。また、コツコツ努力しても成果が現れず、途中で諦めている人がいるのでは? 「努力直線」のように時間をかければ、比例して学力も向上するというものでなく、成果が現れる前に努力してもダメだと諦めている人もいます。「成長曲線」というものがあり、「突破口」つまり「成果」は100日(100回)を過ぎないと現れないといわれています。3ヶ月も経たず、諦めるから成果が出ないということになります。何度も繰り返し学習することで、『海馬』に重要な情報だと思わせる。最低でも2時間は家庭学習が必要です。2時間勉強を100日続けることで、習慣化するはずで

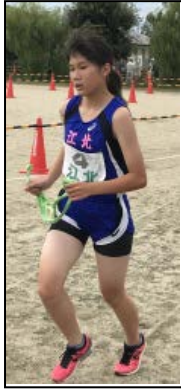


中体連地区駅伝競走大会

10月2日(火) 福富マイランド公園周辺で、本年度最後の地区中体連の種目駅伝競走が開催されました。3年生の中には、中体連の自分の競技が終了した後も長距離の練習を継続して取り組んでくれた生徒もいました。駅伝競走の前にロードレース競技もあり、駅伝メンバーともに全員、自己ベストのタイムで健闘し、襷を繋いでくれました。お疲れさまでした。



男子ロードレース



1区：高藤杏菜



2区：木下美咲



3区：吉本音愛



4区：中島璃子



5区：小林結衣奈



1区：古舘慶大



2区：江口大喜



3区：百武千尋



4区：一ノ瀬琉希



5区：浪瀬志恩



6区：小林浩都

自転車交通安全教室

10月5日(金)非常に強い台風25号の接近で、心配された雨も何とか持ち、JA共済自転車交通安全教室を、ドラマや映画で活躍されているプロのスタントマンに来ていただき、ルール違反をしたとき、危険な箇所での安全確認を怠ったときなどの事故を再現していただき、危険が潜む自転車事故を疑似体験しました。滅多にない機会だったので、小学6年生にも一緒に参加してもらいました。



40km/時操行での衝撃実験



横断歩道で停止中の横を通過



交差点での一旦停止無視



トラックの死角による事故



トラックの内輪差による事故



生活副部長三島さんによるお礼の言葉